DENON

CD プレーヤー

DCD-F107

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、☞18 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

リモコンについて

本機にリモコンは付属していません。

本機と AM-FM ステレオレシーバー DRA-F107（別売）を、本機に付属のシステムケーブルで接続（システム接続）することにより、DRA-F107 付属のリモコンで本機を操作することができます。

- **この取扱説明書には、DRA-F107 に付属のリモコンを使った操作方法も記載しています。**
- **リモコンについては、DRA-F107 の取扱説明書をご覧ください。**

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

⦸記号は禁止の行為であることを告げるものです。

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。

万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

再生のしかた

その他の機能

システム機能について

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

本体とは別に下記の付属品が入っています。
お使いになる前にご確認ください。

	数量
① ピンプラグケーブル（長さ：約 0.6m）	1
② システムケーブル（長さ：0.5m）	1
③ 取扱説明書（本書）	1
④ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑤ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）	1

①　②

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

リモコンについて

本機にリモコンは付属していません。

本機と AM-FM ステレオレシーバー DRA-F107（別売）を、本機に付属のシステムケーブルで接続（システム接続）することにより、DRA-F107 付属のリモコンで本機を操作することができます。

- **この取扱説明書には、DRA-F107 に付属のリモコンを使った操作方法も記載しています。**
- **リモコンについては、DRA-F107 の取扱説明書をご覧ください。**

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところで使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を切って 1 ～ 2 時間放置してから、使用してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❷ CD-R/CD-RW

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ご注意

ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

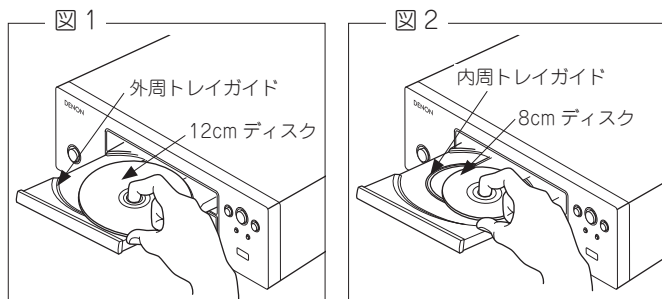
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“00:00”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC”を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

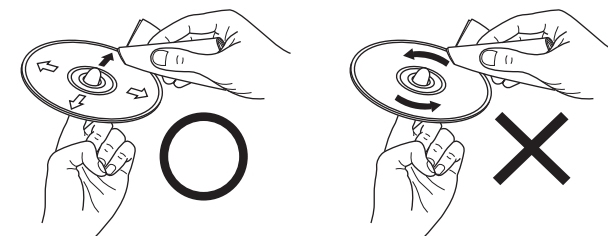
取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

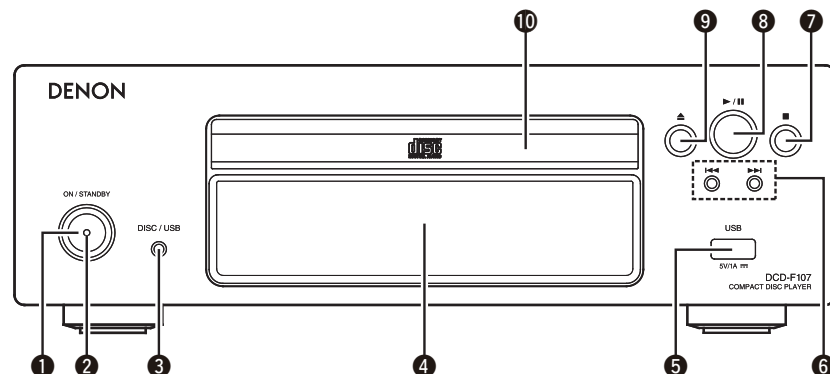
円周に沿っては拭かない。

ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ 電源ボタン（ON/STANDBY）……（9、10）
❷ 電源表示……（9）
❸ メディアモードボタン（DISC/USB）……（10）
❹ ディスプレイ……（7）
❺ USB ポート（USB）……（9、10）
❻ オートマチックサーチボタン（⏮、⏭）……（11 ～ 15）
❼ ストップボタン（■）……（11、15）
❽ プレイ / ポーズボタン（▶/❚❚）……（10 ～ 12、14 ～ 16）
❾ ディスクトレイ開閉ボタン（⏏）……（10、16）
❿ ディスクトレイ……（6、10、12）

リアパネル

❶ アナログ音声出力端子（LINE OUT）……（8）
❷ デジタル音声出力端子（DIGITAL OUT OPTICAL）……（8）
❸ システム端子（SYSTEM CONNECTOR）……（16）
❹ AC アウトレット（AC OUTLET）……（9）
❺ 電源コード……（9）

ディスプレイ

❶ インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。

❷ 再生モード表示……（11）
▶：再生中
❚❚：一時停止中

❸ 総時間表示……（11、13）
CD の総トラック数と総時間を表示しているときに点灯します。

❹ ランダム再生表示……（11）

❺ リピートモード表示……（11、13）

接続のしかた

システム接続については「システム機能について」（☞16 ページ）もあわせてご覧ください。

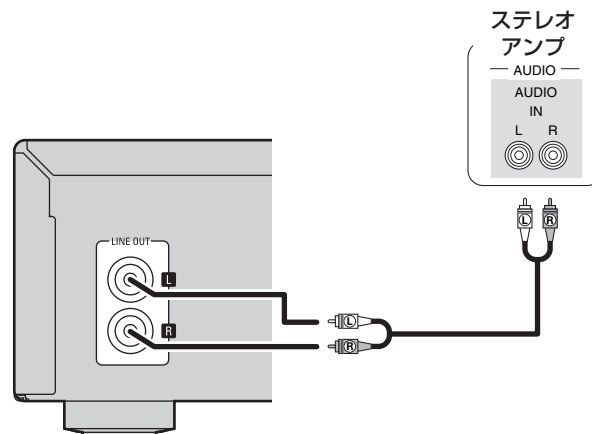
ご注意

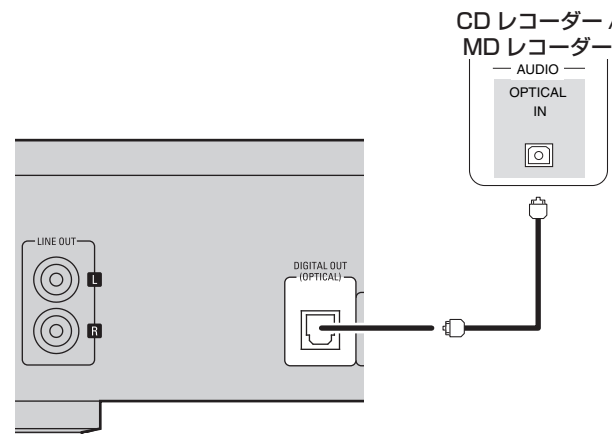
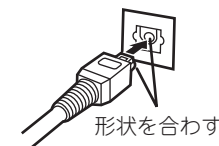
- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

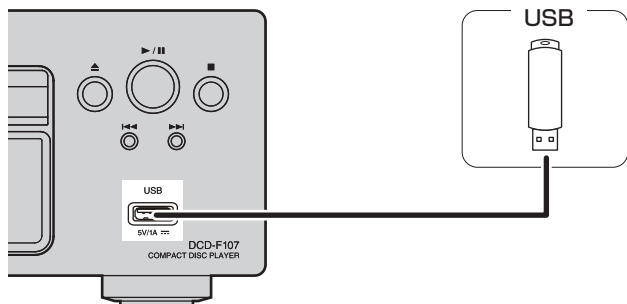
アナログ接続

本機と DRA-F107（レシーバー：別売）を接続するときは上記の接続のほかに、システム接続をおこなってください。
システム接続により、DRA-F107 付属のリモコンでの本機の操作や各種システム機能が有効になります。
（☞16 ページ「システム機能について」）

デジタル接続

❑ デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売）で接続するとき

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

USB ポートの接続

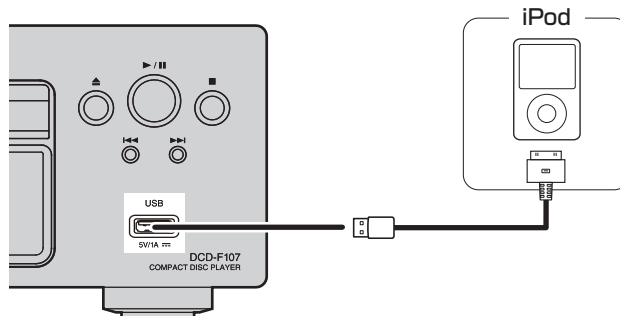
ご注意

USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。

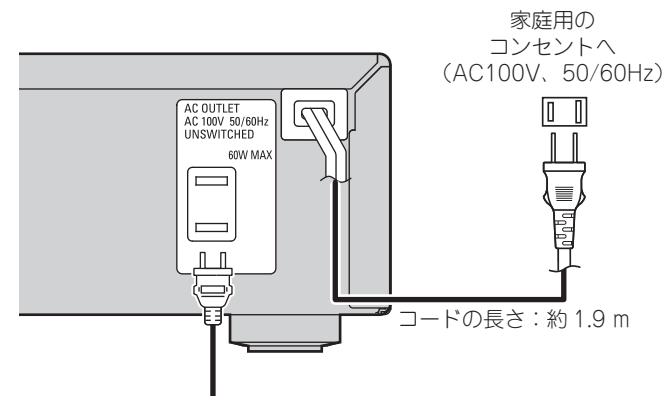
USB メモリー

ご注意

- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーの詳細については、「再生できる USB メモリーのフォーマットについて」（☞15 ページ）をご覧ください。

iPod

iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。

- 本機と iPod の接続には、iPod に付属の USB ケーブルを使用してください。
- iPod は第 5 世代以降に発売された iPod touch, classic, nano で再生することができます。詳しくは web（www.denon.com）を参照してください。

電源コードの接続

すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。

AC アウトレットへの接続

- 外部のオーディオ機器に電源を供給するコンセントです。
- 本体の電源ボタンとは連動していません。
- 消費電力が 60W までのオーディオ機器を接続することができます。

ご注意

電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。

接続が終わったら

電源を入れる（☞10 ページ）

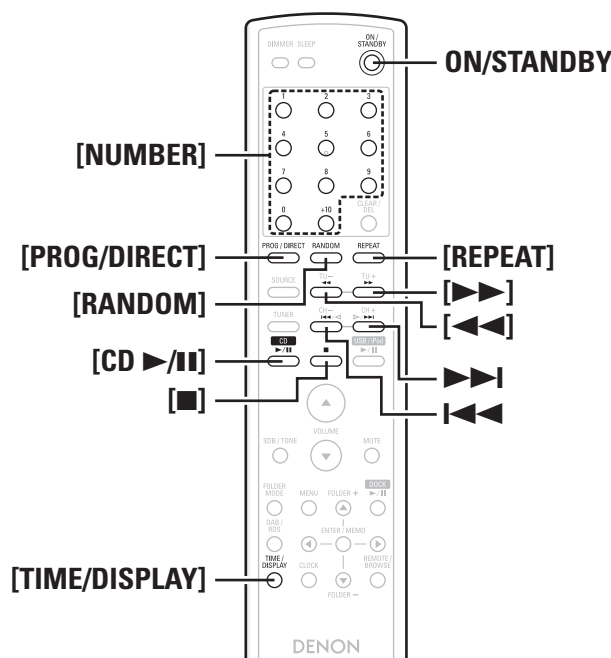
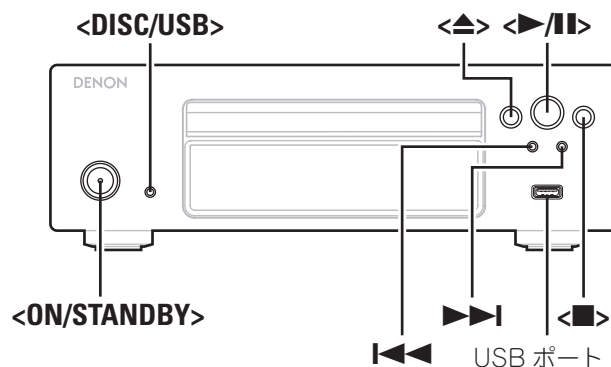
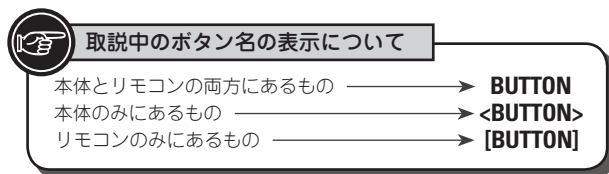
電源表示について

スタンバイ ……………………………………消灯
電源オン ………………………………………緑色

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

再生のしかた

準備

ディスクを再生する前に

1 **<ON/STANDBY> ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

ディスクが入っていないときは、"NO DISC"を表示します。

※ システム接続（☞16 ページ）をしているときは、先にDRA-F107 の電源を入れてから本機（DCD-F107）の電源を入れてください。

2 **<DISC/USB> ボタンを押して、再生メディアモードを"DISC"にする。**

3 **ディスクを入れる（☞6 ページ）。**

- **<▲>** ボタンを押して、ディスクトレイを開閉します。
- **<►/II>** または **[CD ►/II]** ボタンを押してもディスクトレイを閉じることができます。

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

USB または iPod を再生する前に

1 **<ON/STANDBY> ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

※ システム接続（☞16 ページ）をしているときは、先にDRA-F107 の電源を入れてから本機（DCD-F107）の電源を入れてください。

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを接続する。**

- USB メモリーまたは iPod を本機の USB ポートに接続すると、ソースメディアモードが自動的に"USB"に切り替わり、ファイルの再生をはじめます。
- ディスプレイの"USB"表示または"iPod"表示が点灯します。

再生メディアモードの設定は、電源をスタンバイにしても記憶します。

❏ 電源を切るとき

もう一度 **ON/STANDBY** ボタンを押す。

ご注意

電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

CD の再生

CD を再生する

1 **再生の準備をする（「ディスクを再生する前に」☞10 ページ）。**

2 **<▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] ボタンを押す。**
"▶" 表示が点灯し、再生をはじめます。

❏ 再生を停止するには
■ ボタンを押す。

❏ 再生を一時停止するには
<▶/❚❚> または **[CD ▶/❚❚]** ボタンを押す。
"❚❚" 表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 **<▶/❚❚>** または **[CD ▶/❚❚]** ボタンを押してください。

❏ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには
再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを押し続ける。

❏ 頭出しをするには
再生中に **❙◀◀, ▶▶❙** ボタンを押す。

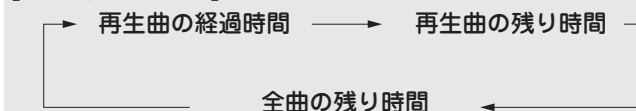
※押した回数だけ曲を飛び越します。
※ 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❏ 好きな曲を聞くには（リモコンのみ）
[NUMBER]（**0 ~ 9, +10**）ボタンで再生したい曲の番号を選ぶ。

【例】4 曲目　：**[4]**
【例】12 曲目　：**[+10]**, **[2]**
【例】20 曲目　：**[+10]**, **[+10]**, **[0]**

ディスプレイ表示を切り替える

[TIME/DISPLAY] ボタンを押す。

再生曲の経過時間 → 再生曲の残り時間 → 全曲の残り時間 → 再生曲の経過時間

※ボタンを押すたびに切り替わります。

リピート再生をする

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

1（1 曲リピート）→ ALL（全曲リピート）→ OFF（表示消灯）→ 1（1 曲リピート）

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	：1 曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	：全曲をくり返して再生します。
リピートオフ（表示消灯）	：通常の再生に戻ります。

ランダム再生をする

1 **停止中に [RANDOM] ボタンを押す。**
""RANDOM" を表示します。

2 **<▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] ボタンを押す。**
順不同に再生をはじめます。

❏ ランダム再生を止めるとき
停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。
"RANDOM" が消灯します。

ランダム再生中に **[REPEAT]** ボタンを押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意　ランダム再生中に、ダイレクト選曲はできません。

好きな順に再生する＜プログラム再生＞

最大 25 曲までプログラムできます。

1 **停止中に [PROG/DIRECT] ボタンを押す。**
"PGM" を表示します。

2 **[NUMBER]（0 ~ 9, +10）ボタンを押して、曲番を選ぶ。**

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
[PROG/DIRECT], **[3]**, **[+10]**, **[2]**, **[7]** と押す。

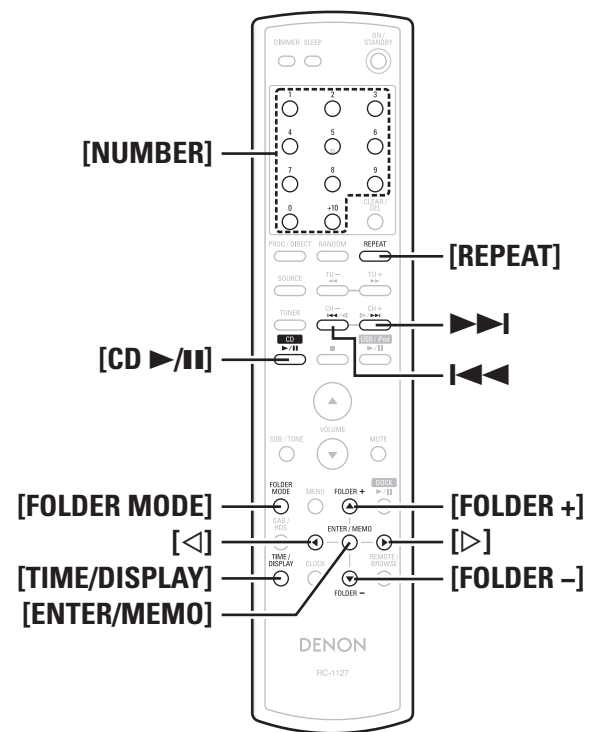
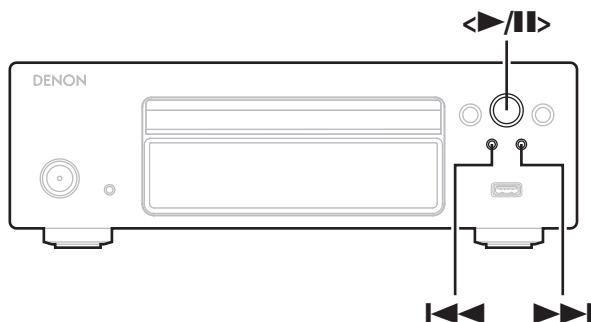
3 **<▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] ボタンを押す。**
プログラムされた順に再生をはじめます。

❏ プログラムした曲順を確認するには
停止中に **▶▶❙** ボタンを押す。
押すたびにプログラムされた順に曲番を表示します。

❏ プログラムした最後の曲を取り消すには
停止中に **[CLEAR/DEL]** ボタンを押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

❏ プログラムした 1 曲のみを取り消すには
停止中に **▶▶❙** ボタンを押して、取り消したい曲を選び、**[CLEAR/DEL]** ボタンを押す。

❏ プログラムした曲をすべて取り消すには
停止中に **[PROG/DIRECT]** ボタンを押す。

- プログラム再生中に **[REPEAT]** ボタンを押すと、プログラムした曲順に再生を繰り返します。
- プログラム再生中に **[RANDOM]** ボタンを押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- ディスクトレイを開けたり、電源を切るとプログラムを解除します。

MP3 や WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

※他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：512 個
最大フォルダ数：256 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.WMA

- ファイルには必ず拡張子 “.MP3” “.WMA” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞6 ページ）。

2 [FOLDER MODE] ボタンを押して、“フォルダモード” または “ディスクモード” を選ぶ。

【表示について】
フォルダモードのとき …………“FLD” 表示点灯
ディスクモードのとき …………“FLD” 表示消灯

フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。

ディスクモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 [FOLDER +, –] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 ⏮,⏭ または [◁, ▷] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 <▶/❚❚> または [CD ▶/❚❚] ボタンを押す。

❏ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  [FOLDER +, –] ボタンでフォルダを選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
- **ファイル**
  [◁, ▷] ボタンでファイルを選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
  または **|◀◀, ▶▶|** ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER] (0 ~ 9)** ボタンでファイル番号を選ぶ。

※フォルダの番号とファイルの番号は、ディスク読み込み時に自動で設定されます。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
（この場合“Not Support”を表示します。）
- 書き込み用のアプリケーションソフトによっては、正しく書き込みができないものがあります。
- ディスクの記録状態によっては、正しく再生できないものがあります。

❏ 表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

※表示できる文字は次の通りです。

A～Z	a～z	0～9

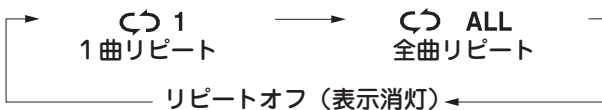
!” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` | { } ˜ ^ ’ ( ) * + , - . / =（空白）

❏ リピート再生するには

[REPEAT] ボタンを押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

※“フォルダモード”および“ディスクモード”では選択できるリピートモードが異なります。

“フォルダモード”のとき：

“ディスクモード”のとき：

【選択できる項目】

“フォルダモード”のとき：

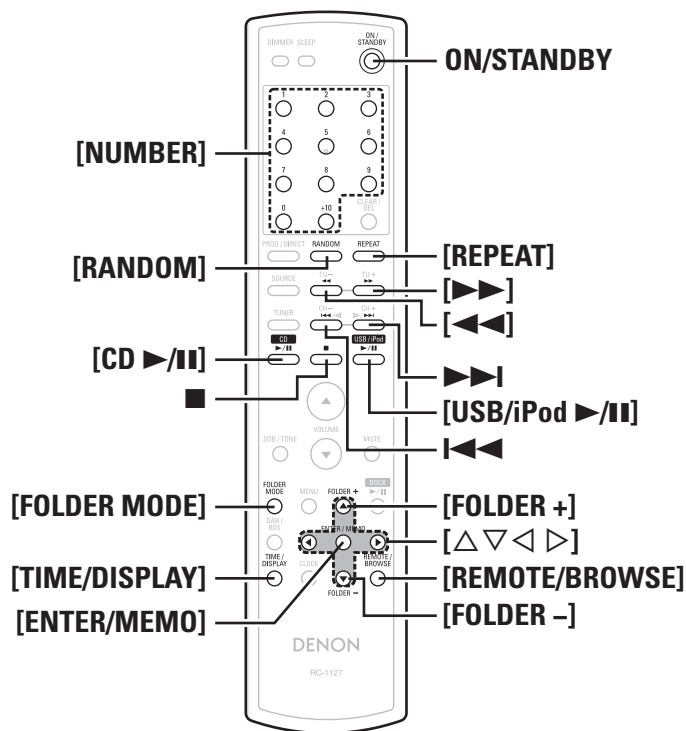
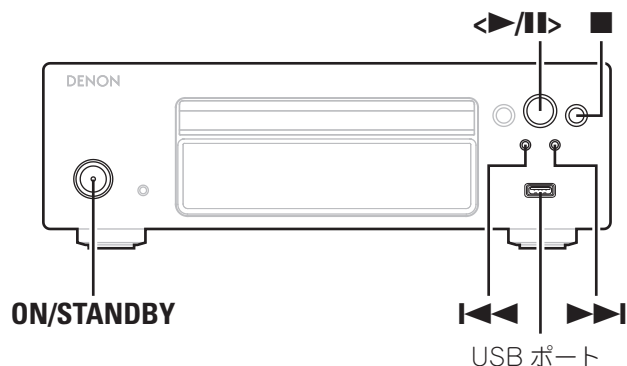
1 FLD	：選んだファイルのみをくり返し再生します。
FLD（フォルダ内リピート）	：選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
FLD	：フォルダモード再生に戻ります。

“ディスクモード”のとき：
「リピート再生をする」（☞11 ページ）をご覧ください。

❏ ランダム再生するには

「ランダム再生をする」（☞11 ページ）をご覧ください。

ご注意

MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

“Made for iPod” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

1 **再生の準備をする（「USB または iPod を再生する前に」☞10 ページ）。**

2 **[REMOTE/BROWSE] ボタンを押して、表示モードを選ぶ。**
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○
操作できるボタン	本機と本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

3 **[△, ▽] ボタンでメニューを選び、[ENTER/MEMO] ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。**

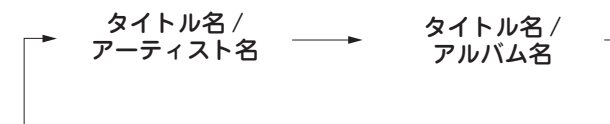
4 **<▶/II> または [USB/iPod ▶/II] ボタンを押す。**
再生をはじめます。

リモコンのボタンとiPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
USB/iPod ▶/II	▶II	再生 / 一時停止
I◀◀, ▶▶I	I◀◀, ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
◀◀, ▶▶（長押し）	I◀◀, ▶▶I（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△, ▽	Click Wheel	カーソル上下左右
ENTER/MEMO または ▷	Select	設定の確定 / 再生
REMOTE/BROWSE	—	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	—	リピート再生
RANDOM	—	ランダム再生
◁	MENU	メニューの呼び出し / メニューのリターン

ご注意
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

本機のディスプレイ表示を切り替えるには

再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。
ボタンを押すたびに切り替わります。

iPod を取り外す

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 **USB ポートから iPod ケーブルを抜く。**

USB の再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

次のフォーマットで作成された、USB メモリーに保存されているファイルを再生することができます。

USB対応ファイルシステム

“FAT16”または“FAT32”

※USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数：255 個
最大フォルダ数：255 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル

ファイル フォーマット	サンプリング 周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.wma

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。

※インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 **再生の準備をする（「USB または iPod を再生する前に」☞10 ページ）。**

2 **[FOLDER MODE] ボタンを押して、“フォルダモード”または“メモリーモード”を選ぶ。**

【表示について】
フォルダモードのとき …………“FLD”表示点灯
メモリーモードのとき …………“FLD”表示消灯
フォルダモード：
選択したフォルダ内のすべてのファイルを再生します。
メモリーモード：
選択したフォルダおよびファイルの再生後、すべてのフォルダ内のファイルを再生します。

3 **[FOLDER +, –] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **⏮,⏭ または [◁, ▷] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **<▶/❚❚> または [USB/iPod ▶/❚❚] ボタンを押す。**

❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- **フォルダ**
  [FOLDER +, –] ボタンでフォルダを選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
- **ファイル**
  [◁, ▷] ボタンでファイルを選び、**[ENTER/MEMO]** ボタンを押す。
  または **⏮, ⏭** ボタンでファイルを選ぶか、**[NUMBER] (0 ~ 9)** ボタンでファイル番号を選ぶ。

※フォルダの番号とファイルの番号は、USB メモリー読み込み時に自動で設定されます。

❑ 再生を停止するには

■ ボタンを押す。

❑ 再生を一時停止するには

<▶/❚❚> または **[USB/iPod ▶/❚❚]** ボタンを押す。
“❚❚”表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 **<▶/❚❚>** または **[USB/iPod ▶/❚❚]** ボタンを押してください。

❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[◀◀, ▶▶]** ボタンを押し続ける。

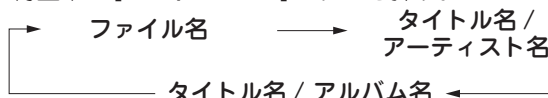
❑ リピート再生するには

[REPEAT] ボタンを押す。

❑ ランダム再生するには

停止中に **[RANDOM]** ボタンを押す。

❑ 表示を切り替えるには

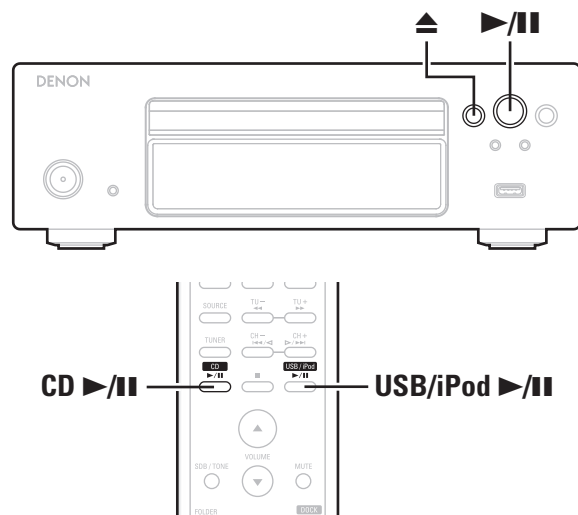
再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

※表示できる文字は次の通りです。

A ～ Z	a ～ z	0 ～ 9

! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` | { } ~ ^ ’ ( ) * + , - . / = (空白)

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

その他の機能

便利な機能

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、**ON/STANDBY** ボタン以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

- ▲ ボタン……………………ディスクトレイが開きます。
- ▶/❚❚ ボタン………………再生をはじめます。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の再生メディアモードを記憶します。

再び電源を入れると、スタンバイにしたときの再生メディアモードになります。

本機と DRA-F107（レシーバー：別売）をシステム接続した場合のシステム機能については、「システム機能について」（☞16 ページ）をご覧ください。

システム機能について

システム接続対応機器（別売）

DRA-F107（AM-FM レシーバー）

システム機能は、DRA-F107が動作の制御をおこないます。
システム接続には必ず DRA-F107 を接続してください。

システム機能でできること

本機と DRA-F107(レシーバー：別売) をシステム接続すると、次の操作ができます。

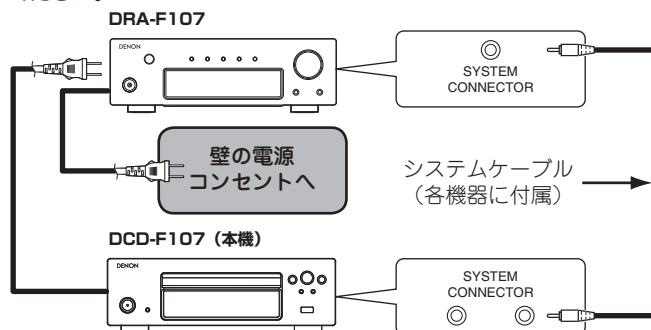
- ❑ **DRA-F107 に付属のリモコンで、本機の操作ができます。**
- ❑ **オートパワーオン機能**（☞16 ページ「システム機能」）
- ❑ **オートファンクション機能**（☞16 ページ「システム機能」）
- ❑ **タイマー機能**（☞16 ページ「システム機能」）

システム接続のしかた

オーディオケーブルの接続のほかに、システムケーブルを接続してください。

また、本機（DCD-F107）の電源コードは DRA-F107(レシーバー：別売) の AC アウトレットに接続してください。

ご注意

DRA-F107 の電源コードは必ず、壁の電源コンセントに差し込んでください。

システム機能

オートパワーオン機能

リモコンの **CD ▶/❚❚** ボタンまたは **USB/iPod ▶/❚❚** ボタン押すと各機器の電源が入り、DRA-F107 のファンクションが自動的に切り替わります。

- **CD ▶/❚❚** ボタン………………ディスクが入っているときは、再生をはじめます。
- **USB/iPod ▶/❚❚** ボタン……USB 端子に接続しているデバイスを再生します。

ご注意

フロントパネルの再生ボタンを押しても、オートパワー機能ははたらきません。

オートファンクション機能

リモコンの **CD ▶/❚❚** ボタンまたは **USB/iPod ▶/❚❚** ボタンを押すと、DRA-F107 のファンクションが自動的に切り替わり、再生をはじめます。

- 現在再生中のソースは停止します。

タイマー機能

本機のタイマー機能を使用して、設定された時間に再生をおこなうことができます。

- 詳しくは、DRA-F107（レシーバー：別売）の取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
電源を入れても電源表示が点灯せず、音が出ない。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	9
電源表示は点灯するが音が出ない。	●アンプのファンクション（入力）が不適当である。 ●音量調節つまみが絞ってある。	●正しいファンクション（入力）に切り替えてください。 ●適当な位置まで回してください。	— —

【リモコン】（DRA-F107 に付属）

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●本機と DRA-F107 のシステムケーブルの接続が不完全。 ●乾電池が消耗している。 ●本体から離れすぎているか、角度が良くない。 ●本機とリモコンの間に障害物がある。 ●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。 ●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。	●しっかり接続してください。 ●新しい乾電池と交換してください。 ●リモコンは、DRA-F107 から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲で操作してください。 ●障害物を取り除いてください。 ●正しい極性でセットしてください。 ●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	16 — — — — —

【CD】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ディスクトレイが開閉しない。	●電源が入っていない	●電源を入れてください。	10
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	●ディスクが正しく入っていない。	●ディスクを入れ直してください。	6
ディスクを入れても“00：00”表示になる。	●本機で使用できないディスクが入っている。	●オーディオ用の C D、または MP3/WMA を記録した CD-R/-RW を入れてください。	5
▶/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。 ●再生メディアモードが“USB”になっている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 ●再生メディアモードを“DISC”に切り替えてください。	6 10
ディスクの指定場所が正しく再生できない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6
プログラム再生ができない。	●プログラム方法が違っている。 ●MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。	●正しくプログラムしてください。 ●オーディオ用の CD を使用してください。	11 5
CD-R/CD-RW が再生できない。	●ファイナライズされていない。 ●記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	●ファイナライズをしてから、再生してください。 ●正しく記録されたディスクをご使用ください。	5 —
MP3 や WMA 形式で記録されたファイルが再生できない。	●「著作権保護された WMA ファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	●◀◀ または ▶▶ ボタンで別のファイルを選んでください。	12、13

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●再生メディアモードが“DISC”になっている。 ●ケーブルが正しく接続されていない。	●再生メディアモードを“USB”に切り替えてください。。 ●接続をやり直してください。	10 9

ご使用になる前に
接続
再生
その他の機能
システム機能
故障かな？と思ったら
保証と修理
主な仕様

【USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイにフォルダー名などを表示せずに“00Tr 00:00”を表示する。	● 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	● 接続を確認してください。	9
	● マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	● 本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB デバイスに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	—
	● 本機が認識できないデバイスを接続している。	● 故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	—
	● USB ハブ経由で接続している。	● USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB デバイスも再生できません。	—
USB デバイス内のファイルが再生できない。	● USB デバイスのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	● フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB デバイスの取扱説明書をご覧ください。	15
	● 複数のパーティションに分かれている。	● 複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	15
	● ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	● 対応しているフォーマットで記録してください。	15
	● 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	● 本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	15

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

❏ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❏ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❏ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❏ 修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑CD 部

●アナログ出力

信号方式：	16 ビット・リニア PCM
サンプリング周波数：	44.1 kHz
使用ディスク：	コンパクトディスク

●デジタル出力

OPTICAL:	− 15 〜− 21 dBm
発光波長：	660 nm

❑総合

電源 :	AC 100 V　　50/60 Hz
消費電力 :	13 W（電気用品安全法による） 0.5 W（スタンバイ時）
最大外形寸法：	250（幅）× 82（高さ）× 260（奥行き）mm （フット・つまみ・端子を含む）
質量 :	3.1 kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川 1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30 〜 12：00、12：45 〜 17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購 入 店 名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　5411 10292 009D